

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
医療基礎1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	1期	長島 浩		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
社会医学の基礎知識を学び、予防医学の実践方法を検討する。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		医療従事者として健康・予防医学活動を実践するために、我が国の保健、社会保障制度および医療分野の現状、生活問題について理解する能力を修得するとともに、公衆衛生関連の関係法規についても修得する。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		<ol style="list-style-type: none"> 1. 主として健康の概念、疾病予防と健康管理、感染症の予防、消毒、環境衛生、生活環境について理解し、説明ができる。 2. 予防医学の基本的な考え方を列挙できる。 3. 予防医学の段階である1次予防、2次予防、および3次予防を理解し、医療従事者として予防医学活動を実践するための手法を説明できる。 4. 公衆衛生関連の関係法規を説明できる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
生理学、微生物学等の基礎医学の知識および専門用語を確実にして受講する。							
教科書・参考書							
教科書: 衛生学・公衆衛生学(全国柔道整復学校協会監修) 参考書: 公衆衛生がみえる2022/2023(メディク・メディア社)							
受講上の注意							
学習範囲が広範であるため、復習が不可欠である。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	衛生学・公衆衛生学の歴史と予防医学の考え方			P.1~22	筆記用具		
第2回	疾病予防と健康管理・感染症とは			P.23~42	筆記用具		
第3回	感染症の予防対策と消毒(1)			P.43~59	筆記用具		
第4回	感染症の予防対策と消毒(2)			P.43~59	筆記用具		
第5回	環境衛生(1)環境とは～物理的環境要因			P.61~79	筆記用具		
第6回	環境衛生(2)化学的環境要因～公害			P.79~88	筆記用具		
第7回	環境衛生(3)公害～地球環境			P.88~95	筆記用具		
第8回	生活環境・食品衛生活動(1)水の衛生・衣服・住居			P.97~107	筆記用具		
第9回	生活環境・食品衛生活動(2)食品・栄養改善活動・廃棄物			P.107~119	筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
埼玉医科大学医学部衛生学教室で17年間、東京慈恵会医科大学環境保健医学講座で3年間、衛生学公衆衛生学に携わった実績を踏まえ、教育・研究の実務経験の観点から、公衆衛生学について講義する。							
メールアドレス							
nagashima-t@nihonisen.ac.jp							